

# 平成 28 年度「小規模特別養護老人ホーム 昂」事業報告書

施設長 石栗 千秋

## 1. 職員の配置状況

(当該年度 3月31日現在)

職名 区分	施設長	管理者	介護支援専門員	生活相談員	医師	看護師	機能訓練指導員	介護職員	栄養士(管理)	事務員	環境整備員	合計
基準定数 ・・・①	1	1	1	1	(1)	1	1	10	1			17
正規職員の配置 ・・・②	1	1	1	2		1	1	17	1			25
正規職員以外の配置 ・・・③					(1)			4		1	1	6
現員計 ②+③=④	1	1	1	2	(1)	1	1	21	1	1	1	31

※ 基準定数は、人員に関する基準に基づき算定される員数を記入。

※ 嘱託医は、〔 〕内で記入。

## 2. 利用者の状況

(当該年度 3月31日現在)

	男	女	計
入居者数	3人 (0人)	6人 (0人)	9人 (0人)
退居者数 (亡くなった方を含む)	2人 (2人)	6人 (4人)	8人 (6人)
年度末現在の入居者在籍数	9人 (0人)	20人 (0人)	29人 (0人)

( ) は、短期入所利用者数を示す。

### 3. 利用者処遇の充実の状況

#### (1) ケアカンファレンス実施状況

(当該年度 3月31日現在)

会議名	開催回数		定例開催日	記録の有無	参加職種
	定例	臨時			
運営会議	12	0	第1水曜	○・無	施設長・CM・介護係長・各ユニットリーダー・看護師・管理栄養士・相談員
ケース会議	125	12	随時		CM・居室担当またはユニットリーダー・看護師・栄養士・機能訓練指導員・相談員
入所判定会議	12	0	第1水曜		運営会議に同じ
職員全体会議	12	0	第3水曜		全職員

#### (2) 機能訓練実施状況

##### ・個別機能訓練

- 歩行訓練等（平行棒）：週1回実施 4名 隔週1回実施 1名
- 歩行訓練（ユニット内）：毎日4名
- 関節可動域訓練：週1～2回実施 3名 週5回～毎日 2名
- 下肢マッサージ等：週5回～毎日実施 2名
- 嚥下機能訓練（嚥下マッサージ）：毎日実施1名

##### ・生活上機能訓練

- 作業レク（折り紙・塗り絵・書字等）：随時
- トイレ内動作訓練（立位保持等）：毎日12名
- 洗濯物たたみ・箱折等：毎日実施4名、週3～4日実施 1名 週1～2日実施 2名

##### ・その他 歯磨き・更衣等の日常生活関連動作の促し：毎日23名

#### (3) 虐待防止に向けた取り組みの状況

##### ・施設としてどのような体制（例：責任者の設置等）を整備しているか。

- 苦情受付の担当者を定め、虐待（の疑い）があった場合には、口頭又は施設内に4か所の苦情受付箱を設置し投書ができるように体制を整えている。
- 様々な相談ができる等の掲示も行っている。

##### ・施設としてどのような取り組み（例：研修の実施、掲示等）を行っているか。

- 平成28年度、法人全体として身体拘束・虐待防止の研修を開催し、虐待に対する意識を高めた。また、運営会議メンバーにて虐待防止委員会を年に2回開催し、行っている介護が不適切ケアに該当するかどうかのアンケートを実施し、リスク管理係が主体となって、不適切ケアについて話し合った。結果として職員間のコミュニケーションが大切であるという事がわかり、職員同士の人間関係を調和するために相手の長所を見つけ認め合う方法をとった。

(4) 嘱託医師の回診の状況

週1回水曜日の午前に昂診療所にて嘱託医による往診を行なっている。

また、午後より各受診を入れられるようになる。

往診内容：入所者様の診察、創処置、検査指示、薬の処方、入所者様およびご家族様への病状説明、診療相談・指導、主治医意見書作成、診療情報提供書作成、ワクチン予防接種など。往診日以外に入所者様の体調に変化があった場合は、看護師から嘱託医にすみやかに報告し、嘱託医の指示のもと対処している。

リスクマネジメント：誤薬防止について江川医師より直接ユニット職員全員にダブルチェックの必要性、職員の体調不良時や、注意力低下時についてのフォローの話をし、夕礼で啓発する。

(5) 食事の状況

・食事時間

朝食 7:30～9:00 昼食 12:00～13:30 おやつ 15:00 夕食 17:30～19:00

・食費

朝食、昼食、夕食 = 1,430 円（減額有） おやつ = 67 円

・食事形態（在籍者数 平成 29 年 3 月 31 日現在 29 人）

常食	一口大	ミキサー食	ムース食	経管栄養	メイバランス・ソフゼリーのみのみ
11 人	9 人	3 人	3 人	2 人	1 人

・代替食

各入居者の好み等により個別に対応（ごはん or パン食(朝食)、牛乳 or ヨーグルト、肉禁等）

・栄養年報（平成 29 年 3 月 31 日現在）（※経管栄養の方を除く）

	エネルギー	たんぱく質	脂質	カルシウム	食塩相当量
給与目標量	1,581Kcal	57.8 g	37.1 g	648.4 mg	9.3g
給与栄養量	1,553Kcal	60.0 g	35.7g	613 mg	9.2g

(6) 入浴の状況

（当該年度 年間実績）

区分 \ 入浴内容	一般浴	特別浴	リフト浴
利用（入浴）者数	0 人	1,506 人	1,431 人
1 人当たり週回数	週 2 回	週 2 回	週 2 回
実施（曜日）	（月～土曜日）	（月～土曜日）	（月～土曜日）
入浴時間帯	10 時 00 分 ～16 時 00 分	10 時 00 分 ～16 時 00 分	10 時 00 分 ～16 時 00 分
介護員数	1 人	2 人	1 人

(7) 身体拘束の有無

(当該年度 年間実績)

身体拘束の有無	記録の有無	同意の有無	理由
無 (H28. 11月初め まで有)	有	有	全身搔痒感があり、搔きまわってしま いできた傷より感染する恐れがあ るため

(8) 行事・ボランティア活動

(当該年度 年間実績)

月	活動内容
4月	お花見ドライブ
5月	鯉のぼりスイーツ作成、尺八ボランティア
7月	七夕集会
8月	山二ツ諏訪神社大祭
9月	敬老会・ハンドベル
12月	クリスマス会
1月	新年会
2月	寿司屋台・節分
3月	雛祭り

その他、ユニット毎の行事・レクリエーションや個別外出等あり。

(9) 防災訓練実施の状況

全職員に向けて担当区域毎に「火元責任者」を割り振り、毎月「火元責任者自主検査チェック表」のチェックを実施。9月・3月には「構造関係」「避難関係」「電気器具」のチェックを行っている。

また、別に設置している「防火担当責任者」には「防火担当責任者自主点検チェック表」に基づいての確認を指示・実施した。

避難訓練について、5月17日と3月13日に実施。3月の避難訓練は2回目の夜間の避難訓練を想定で行った。3回目の夜間想定という事もあり、避難誘導に当たった職員同士の連携は昨年5月に行った訓練より連携はうまく取れてきている様に思われる。

2回目には、前日緊急連絡網を回したが、何人もの人に連絡できず、伝えた内容も正確に伝わっていないグループが一部あり課題が残った。法人委員会で伝達方法を検討中である。

(10) 運営推進会議の状況

開催日：2ヶ月に1回 第4水曜日 13:30～14:30

構成員：地域住民代表者（自治会長・山潟地区民生委員） 地域包括支援センター  
御利用者様代表 御家族様代表 第三者委員（大学教員）  
当該事業知見者 当該施設代表（施設長） 当該施設職員（介護支援専門員）  
施設関係者（法人本部）

内 容：利用者状況報告（入退所状況・入所者変動・空所利用状況等）

事故報告・ひやりはっと件数報告・苦情相談内容報告

サービス活動状況報告・サービスへの要望及び助言

その他 前回懸案事項についての報告・回答

#### 4. 苦情解決体制の整備の状況

(1) 苦情解決の仕組みの周知方法の状況

(当該年度 年間実績)

利用者への周知方法	窓口等への提示	会報等への掲載	契約締結時の説明	その他
	① ・ 無	有 ・ ②	③ ・ 無	
解決方法の公表方法	事業報告書への掲載		会報等への掲載	その他
	有 ・ ④		有 ・ ⑤	重要事項及び契約書に記載・施設内掲示

(2) 相談受付件数及び概要

(当該年度 年間実績)

- 要望件数 1件…施設内で転倒し骨折された入居者のご家族より、トイレ誘導はポータブルトイレでの排泄でお願いしたいと要望あり
- 苦情件数 1件…2月に入居された重篤な認知症を患った入居者のご家族より、職員の状況説明に対する苦情あり

#### 5. 短期入所生活介護（空床型）事業の状況

(当該年度 年間実績)

- 短期入所生活介護（空床型）について
 

当施設は短期入所生活介護の申請をしている。特別養護老人ホームに入所されている方が、長期入院等、または退所した場合に長期に渡り空床が生じた場合に短期入所生活介護（ショートステイ）として要支援から要介護5までの方に一定期間の間、施設サービスをご利用いただくことができる。
- 年間実績
 

前述、入院による空床期間や入所されるまでの空き期間を3名の方が短期入所生活介護を利用される。
- 問題点
 

急な空床に伴うご利用者及び居宅支援事業所等への連絡やご案内をするも、期間限定での利用ため居宅支援事業者からの問合せがあるのに対し、利用期間が合わないためお断りする場合も数件あった。
- 対応策
 

新潟市内の送迎可能な地域の居宅支援事業所に直接訪問し、空床の案内を連絡し、SSをご利用しながらそのまま入居という流れで行けるように配慮し、空床期間が少ないようにした。

## 6. 待機者の状況

(当該年度 3月31日現在)

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人数(人)	1	5	12	11	2	31

\*待機者の現況確認を実施した結果、他の施設に既に入所された方やご逝去された方多かったため待機者減少した。

## 7. 職員の資質の向上等人材育成の状況

(1) 職員会議・委員会等の開催状況

(当該年度 年間実績)

会議名	開催回数		定例開催日	記録の有無	参加職種
	定例	緊急			
運営会議	12	0	第一水曜	有・無	所長・管理者・看護師・CM・相談員・管理栄養士・各UL・
職員全体会議	12	0	第三水曜	有・無	全職員 所長・管理者・看護師・CM・相談員・管理栄養士・各UL・
ユニット会議	36	0	各委員会定例日	有・無	各ユニット職員
各委員会会議	35	0	各委員会定例日	有・無	委員会責任者・各委員長 各ユニット担当職員

CM…介護支援専門員、UL…ユニットリーダー

(2) 職員研修の状況

(当該年度 年間実績)

	研修名	実施年月日	対象者	参加人数	内容
施設内研修	緊急対応研修	4・28	全職員	4	講義
	おむつ交換講習会	4.17	全職員	全職員	講義・演習
		4.25			
	法人必須研修(倫理規定、プライバシー保護、接遇、電話対応、苦情処理の対応)	5・19	全職員	全職員	講義
	緊急対応研修	5・26	全職員	4	講義
とろみ調整剤の使用方法	5.13	全職員	全職員	講義	

	研修名	実施年月日	対象者	参加人数	内容
施設内研修	食中毒勉強会	6.24	全職員	全職員	全職員
	ノロウイルス食中毒予防セミナー	11・30	全職員	全職員	講義
	緊急対応研修	7・28	全職員	4	講義
	口腔ケア研修	9・14	全職員	12	講義
	緊急対応研修	7・28	全職員	4	講義
	緊急対応研修	8・25	全職員	4	講義
	緊急対応研修	9・22	全職員	4	講義
	リスク事例検討	7・24	全職員	4	講義
	緊急対応研修	10・27	全職員	4	講義
	緊急対応研修	11・24	全職員	4	講義
	緊急対応研修	12・22	全職員	4	講義
	緊急対応研修	1・28	全職員	4	講義
	緊急対応研修	2・25	全職員	4	講義
	緊急対応研修	3.24	全職員	4	講義
	社会福祉施設関係職員	12.20	全職員	4	講義
	危険予知トレーニング	2.15	全職員	全職員	講義
	平成29年度「新任職員必須研修」	5.19	新人職員	1	講義
施設外研修	社会福祉施設関係職員研修	6・24	介護職員	2	講義
	社会福祉施設関係職員研修	7.12	管理者	1	講義
	社会福祉施設関係職員研修	12.14	介護職員	1	講義
	社会福祉施設関係職員研修	8・28	介護職員	2	講義
	看護協会主催「バリデーションを学ぶ」	2.17	看護職員 介護職員	2	講義
	特定給食施設指導会	7.28 10.4	管理栄養士	1	講義
	第42回国際福祉機器展	10・14	介護職員	2	セミナー
	介護福祉士現任研修	10・22	介護職員	1	講義 グループワーク
	排便コントロール勉強会	11.14	看護師 介護職員	2	講義

施設外研修	新潟県介護支援専門員専門 I 研修	7・19 7・20 8・2 8・3 8・4 8.17 8.18 8.19	介護支援専門員	1	講義 グループワーク
	危険予知トレーニング	2・15	介護職員全員	全職員	講義
	看護職員認知症対応力向上研修	1・14 1.21 1.22	看護職員 介護職員	2	講義 グループワーク
	平成 28 年度第 2 回新潟市認知症介護実践研修	7.19、20 8.2～4 8.17～ 8.19	介護職員	1	講義 グループワーク
	喀痰吸引等研修（第 1 号研修）	4.15～ 8.26	介護職員	4	講義 演習

## 8. 建物・設備等の保守点検の状況

・危険な欠損、損傷個所の状況

(当該年度 3月31日現在)

危険箇所・損傷個所	具体的な状況	今後の対応
施設内の壁紙の亀裂	施設内 1, 2 階の共同生活スペースの壁紙が数十か所の亀裂が入っている。その他事務所やリネン室などにも亀裂が見られている。	担当業者より機会を見て壁紙の修正が入る予定。
開所より徐々に地盤沈下が進行しており、施設の周囲に段差が生じている。	正面玄関 5 c m、職員玄関 3 c m、その他施設の周囲 4～5 センチの段差が見られる。事務所の吊り戸の開閉が重かったりしている。駐車場の畑側が、雨が降るとすぐ冠水している。	担当業者と検討し、今後の対応を決めていく。



<p>駐車場内に設置されている浄化槽の満水センサーが故障し、アラームが鳴った。</p>	<p>朝 5 時頃に給食の委託業者の職員が出勤した際に、アラームが鳴っていたとの報告を受け担当業者に連絡し、緊急に浄化槽内に溢れた汚水をバキュームカーで吸い上げた。</p>	<p>経年劣化という事であったが、また今後も十分に日常の点検をしていく必要があると考えられる。</p>
---	--	---

## 9. 補助金の利用について

- ・平成 28 年度介護ロボット等導入支援事業補助金（金 927,000 円）を利用し、見守りセンサー機能付き介護ベッド 3 台を設置。



- ・平成 28 年度防犯対策強化事業補助金（金 469,000 円）にて施設敷地外のフェンスを設置。

